

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021・2022年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
介護予防教室の開催、介護予防サポーターの育成を継続的に行い、またリハビリ教室での一定期間・定期的な支援からの憩いの場づくりを展開する。	身近な場所で気軽に通いの場として交流を図りながら、介護予防への取り組みを続けることで自立した生活を送ることができる。	45箇所	目標	45箇所	46箇所	47箇所	(2021) 自主的に活動を行っている団体に対してリハビリ教室を開催し、憩いの場づくりへつなげた。 (2022) ほとんどの自主活動グループが感染対策をしながら継続して介護予防教室を開催し、身近な場所での憩いの場づくりの確保に努めた。	△	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、すべての通いの場での開催はできなかった。また、参加者の減少や高齢化がみられ、積極的に自主活動を進めていくことが難しくなっているところもある。必要に応じて活動支援を行っていく。 今後も地域で住民主体の活動を推進していくため、介護予防サポーターとして活躍できる人材の育成にも努める。
			実績	45箇所	47箇所				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						